

## 使用上の注意改訂のお知らせ

深在性真菌症治療剤

日本薬局方 ポリコナゾール錠

# ポリコナゾール錠 50mg「DSEP」 ポリコナゾール錠 200mg「DSEP」

劇薬、処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

2026年6月

製造販売元 第一三共エスファ株式会社  
販売提携 第一三共株式会社

このたび、標記製品の「使用上の注意」の一部を改訂いたしましたので、ご連絡申し上げます。  
つきましては、今後のご使用に際しご参照いただくとともに、副作用等の治療上好ましくない有害事象をご経験の際には、弊社MRに速やかにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

### 1. 改訂の概要

- (1)「禁忌」及び「相互作用(併用禁忌)」の項に「ボルノレキサント」「パロバロテン」「ロナファルニブ」を追記しました<<自主改訂>>。
- (2)「その他の副作用」の項の「皮膚及び皮下組織障害」の「血管浮腫」を「血管性浮腫」に記載整備しました<<自主改訂>>。

### 2. 改訂内容〔( ) 自主改訂〕

改訂後	改訂前
<p><b>2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)</b></p> <p><b>2.1</b> 次の薬剤を投与中の患者:リファンピシン、リファブチン、エファビレンツ、リトナビル、ロピナビル・リトナビル、ニルマトレルビル・リトナビル、カルバマゼピン、バルビタール、フェノバルビタール、ピモジド、キニジン、イバブラジン、麦角アルカロイド(エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン)、トリアゾラム、チカグレロル、アスナプレビル、ロミタピド、プロナンセリン、スボレキサント、リバーロキサバン、アゼルニジピン、オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン、ベネトクラクス(再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)の用量漸増期)、アナモレリン、ルラシドン、イサブコナゾニウム、フィネレノン、エプレレノン、ボクロスポリン、<u>ボルノレキサント</u>、<u>マバカムテン</u>、<u>パロバロテン</u>、<u>ロナファルニブ</u>[10.1 参照]</p> <p>2.2~2.3 現行通り</p>	<p><b>2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)</b></p> <p><b>2.1</b> 次の薬剤を投与中の患者:リファンピシン、リファブチン、エファビレンツ、リトナビル、ロピナビル・リトナビル、ニルマトレルビル・リトナビル、カルバマゼピン、バルビタール、フェノバルビタール、ピモジド、キニジン、イバブラジン、麦角アルカロイド(エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン)、トリアゾラム、チカグレロル、アスナプレビル、ロミタピド、プロナンセリン、スボレキサント、リバーロキサバン、アゼルニジピン、オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン、ベネトクラクス(再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)の用量漸増期)、アナモレリン、ルラシドン、イサブコナゾニウム、フィネレノン、エプレレノン、ボクロスポリン、マバカムテン[10.1 参照]</p> <p>2.2~2.3 略</p>

改訂後					改訂前				
10. 相互作用 現行通り					10. 相互作用 略				
10.1 併用禁忌 (併用しないこと)					10.1 併用禁忌 (併用しないこと)				
薬剤名等		臨床症状・措置方法		機序・危険因子	薬剤名等		臨床症状・措置方法		機序・危険因子
現行通り					略				
ボクロスポリン (ルブキネス) [2.1 参照]		本剤との併用により、ボクロスポリンの血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。		本剤はボクロスポリンの代謝酵素(CYP3A4)を阻害する。	ボクロスポリン (ルブキネス) [2.1 参照]		本剤との併用により、ボクロスポリンの血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。		本剤はボクロスポリンの代謝酵素(CYP3A4)を阻害する。
ボルノレキサント (ボルズィ) [2.1 参照]		本剤との併用により、ボルノレキサントの血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。		本剤はボルノレキサントの代謝酵素(CYP3A4)を阻害する。	マバカムテン (カムザイオス) [2.1 参照]		本剤との併用により、マバカムテンの血中濃度が上昇し、副作用が増強され、収縮機能障害による心不全のリスクが高まるおそれがある。		本剤はマバカムテンの代謝酵素(CYP3A4)を阻害する。
マバカムテン (カムザイオス) [2.1 参照]		本剤との併用により、マバカムテンの血中濃度が上昇し、副作用が増強され、収縮機能障害による心不全のリスクが高まるおそれがある。		本剤はマバカムテンの代謝酵素(CYP3A4)を阻害する。					
パロパロテン (ソホノス) [2.1 参照]		本剤との併用により、パロパロテンの血中濃度が上昇し、副作用が増強するおそれがある。		本剤はパロパロテンの代謝酵素(CYP3A)を阻害する。					
ロナファルニブ (ゾキンヴィ) [2.1 参照]		本剤との併用により、ロナファルニブの血中濃度が上昇し、副作用が増強するおそれがある。		本剤はロナファルニブの代謝酵素(CYP3A)を阻害する。					
10.2 併用注意 (併用に注意すること) 現行通り					10.2 併用注意 (併用に注意すること) 略				
11. 副作用 現行通り					11. 副作用 略				
11.1 重大な副作用 現行通り					11.1 重大な副作用 略				
11.2 その他の副作用					11.2 その他の副作用				
	5%以上	1~5%未満	1%未満 <sup>a)</sup>	頻度不明		5%以上	1~5%未満	1%未満 <sup>a)</sup>	頻度不明
現行通り					略				
皮膚及び皮下組織障害		皮膚乾燥、湿疹、紅斑、結節性紅斑、発疹、毛髪変色、光線過敏性反応、多汗、そう痒症、丘疹、皮膚落屑	蕁麻疹	顔面浮腫、斑状丘疹状皮疹、脱毛症、剥脱性皮膚炎、紫斑、固定薬疹、乾癬、血管性浮腫、皮膚エリテマトーデス、偽性ポルフィリン症	皮膚及び皮下組織障害		皮膚乾燥、湿疹、紅斑、結節性紅斑、発疹、毛髪変色、光線過敏性反応、多汗、そう痒症、丘疹、皮膚落屑	蕁麻疹	顔面浮腫、斑状丘疹状皮疹、脱毛症、剥脱性皮膚炎、紫斑、固定薬疹、乾癬、血管浮腫、皮膚エリテマトーデス、偽性ポルフィリン症
現行通り					略				
現行通り					略				

☆詳細は電子化された添付文書（電子添文）をご参照いただきますようお願い申し上げます。

最新の電子添文は以下のホームページに掲載しております。

- ・PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」：

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>

- ・弊社ホームページ：

<https://www.daiichisankyo-ep.co.jp/>

また、専用アプリ「添文ナビ」より、GS1 データバーを読み取ることでも電子添文等をご参照いただけます。

ポリコナゾール錠「DSEP」   
(01)14987081185709

【お問い合わせ先】

第一三共エスファ株式会社 お客様相談室  0120-100-601 受付時間：平日9:00～17:30（土・日・祝日・弊社休日を除く）

製造販売元

**第一三共エスファ株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1



販売提携

**第一三共株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1